

「戦争体験を語る会」

と き 平成23年7月30日（土） 午後1時30分～3時30分

と ころ 豊橋市中央図書館 3階 集会室

今年も、3階集会室において多数の来館者を迎えて「戦争体験を語る会」が開催されました。今年度は4つのテーマで鈴木英一さん、斉藤高志さん、岩瀬博さんの3名の方々と東部中学校の生徒さんたちに語り手を行っていただきました。



「ソ連の侵攻とシベリア抑留」というテーマで65年以上前の辛い体験を話された鈴木英一さん



「シベリア抑留を体験して」と題して、極寒の地シベリアでの強制労働などについて話された斉藤高志さん



生還者が約1割といわれるほど悲惨な戦闘であった「インパール作戦」について、90歳という年齢を感じさせず元気に語られた岩瀬博さん



豊橋市立東部中学校の生徒10名が、昨年度飯村小学校6年生の時の実践「戦争についての学習を通して学んだこと」を発表した。

戦争体験を語る会に寄せられた感想・意見の一部を紹介します。

- 1 インパール作戦、牟田口中将の失策のお話を聞きたかった。大変よかった。貴重な話です。
- 2 シベリア抑留者の体験は、とても貴重な話だった。資料も親切に作られ、読みやすくよかった。鈴木英一さんの話はよくわかった。ありがとう。
- 3 世界人類が平和でありますように。
- 4 中学生の発表がよかったです。発表の方、ご高齢でご苦労様でした。
- 5 シベリア帰りですので、お話を聞き60年前の苦しかったこと、いい無銭旅行をさしてもらったことなど、久しぶりに思い出してもらいました。
- 6 語る会に出席でき、戦争の悲惨さを再確認しました。二度と戦争を行ってはならない。
- 7 シベリア抑留の話は「不毛地帯」を読んだり観たりして様子を知るだけであつたが、実際に体験した方の話が聞けて、さらに詳しく知ることができありがたかったです。
- 8 体験者の方々のご苦労が身にしみて感じました。ありがとうございました。皆様方のご健康をお祈りいたします。
- 9 私の叔父は満洲にいて終戦になり、シベリアに抑留されて長年帰国できず、家族は無事を祈って毎食ご飯を供えていたのを見ています。無事帰国して70歳頃まで会社勤めしていました。また、舞鶴の引揚記念館に行ったとき各種の辛い経験をしたことを知り、また白樺の皮に書き綴った日記を見ました。小さな切れ端を多く重ね合わせて綴られていました。読んでいて涙が出たことを覚えています。
- 10 今日の参考資料の書籍名ありがとうございました。またまた知りたいことがたくさんあるようになりました。この会が続きますようお願い致します。
- 11 参加者に若い人が少ない。若い人にアプローチを心がけたい。
- 12 験者が高齢になっていく。これから若い人に受け継いでいただきたいと思います。
- 13 司会者との対談方式も取り入れると変化があつていいと思う。（特に聞き取りにくい方のお話で）
- 14 戦争を語る人は年々減っていく。語り手があるうちに風化させてはならない。後世のために国のため、陛下の為に死ぬのは最高の栄誉と教えられた世代の最後の務めではあるまいか。